

基調講演

時間:【第1部】13:20~14:05
会場:ベルクラシック甲府 3F
グレース

【講師プロフィール】

地域活性プロデュースを主とする株式会社ウイル
代表取締役。
静岡大学発ソーシャル・ベンチャー、一般社団法人
絆塾 理事。
静岡大学大学院総合科学技術研究科客員教授。
日本女子大学家政経済学科非常勤講師。
昭和女子大学現代ビジネス研究所研究員。
「福島モノづくりブランド構築研究会」委員長。
経済産業省「素形材産業における女性の活躍推進
に向けた検討委員会」委員。
著書に『下町ボブスレー』、『「折れない」中小企業
の作り方』、『メイド・イン・大田区』等多数。



株式会社ウイル 代表取締役
静岡大学大学院総合科学技術研究科
客員教授

奥山 睦 氏

テーマ: 『町工場のイノベーションで世界へ挑戦！
—大田区発・下町ボブスレーの事例から—』

【講演概要】

人口減少、少子高齢化、経済のグローバル化などの潮流を受け、地域が疲弊していると言われて久しい。

しかしそんな現状を受け入れ、地域で元気に頑張っている産学官連携組織がある。それが東京都大田区の「下町ボブスレーネットワークプロジェクト」である。同プロジェクトは、地域内外の産学官連携組織が協働し、日本初の日本人のためのボブスレーのソリを開発し、冬期五輪を目指して製作活動を続けている。

地域において、拡張的な学習を実践するハイブリッド型の産学官連携組織は、イノベーションを促進し、外発型、内発型のその先の共発型の発展により活性化を実現できる。

同プロジェクトの3年半にわたる活動を振り返り、ハイブリッド型産学官連携組織が地域活性化において果たしうる役割について分析・検証し、その有用性を明らかにしておく。